

WILL受注出荷 iP画像ビューアVer3 不具合解決手順書

- 第2版 -

作成:2021/04/15
更新:2021/04/21 R2

株式会社ケーブルソフトウェア

1. 概要

iP画像ビューアV3の動作に問題がある時に、不具合原因の特定をするための手順となります。

CASE1: iP画像アプリの設定(IPアドレスとデバイス名を登録)を行ったが、一覧表示しないなど、

サーバからの応答がない場合

→DBサーバ、IISの状態を確認します。

→iP画像ビューアアプリの設定を確認します。

2-1. IIS 動作の確認

2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

CASE2: バーコード読取りができない、**カメラが起動しない場合**

→iP画像ビューアアプリの設定を確認します。

2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

CASE3: 一覧は表示はするが、**全ての画像が表示しない場合**

→DBサーバ、IISの仮想ディレクトリの状態を確認します。

2-3. IIS 仮想ディレクトリの確認

CASE4: 一覧は表示はするが、**特定の画像が表示しない場合**

→DBサーバ、IISの状態(MIME)を確認します。

2-4. IIS MIMEの確認

CASE5: 画像は表示はするが、**写真・動画のアップロードができない場合**

→アップロード先のフォルダ環境を確認します。

2-5. 画像格納フォルダの確認

CASE6: **検査情報登録、レイヤー表示ができない場合**

→IIS サーバアプリ(GZViewer)の動作を確認します。

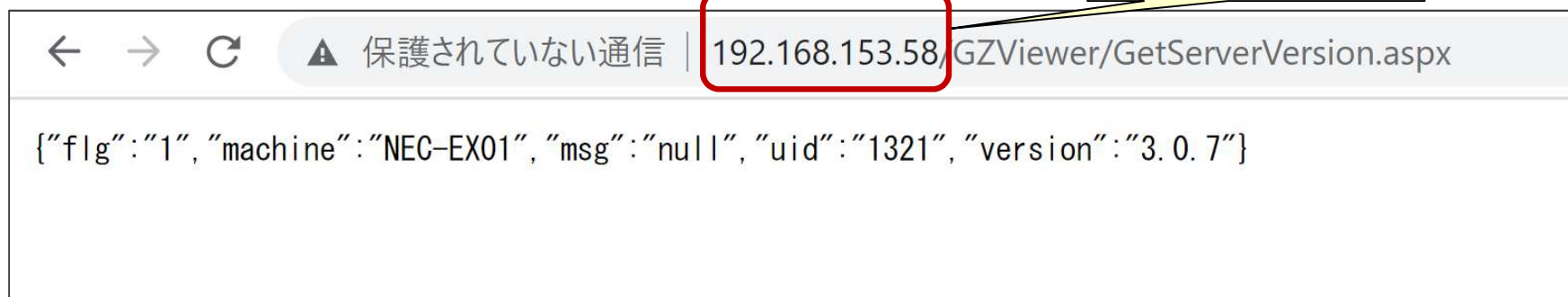
2-6. GZViewerアプリ動作の確認

2-1. IIS動作の確認

DBサーバー、IISの状態を確認します。

- ① ケーブルソフトウェアクライアントPC等のブラウザで
(例:http://192.168.153.58/GZViewer/GetServerVersion.aspx)URLを実行
※例)上記ケーブル開発サーバIPアドレスを指定

DBサーバIPアドレス



- ② 上記のような情報が返却(マシン名・サーバーバージョンなど)かを確認
- ③ 応答が無い、返信が無い場合は、DBサーバのIIS設定を確認する必要があります。
→[iP画像ビューアVer3.3環境構築手順書](#)を参照して、IISの設定を確認してください。

2-2. iP画像ビューアアプリの設定を確認

iP画像ビューアアプリがインストールされているデバイスの設定を確認します。

① 設定をタップします。



② iP画像ビューアアプリをタップします。



③ ローカルネットワーク、マイク、カメラがONになっている事を確認します。



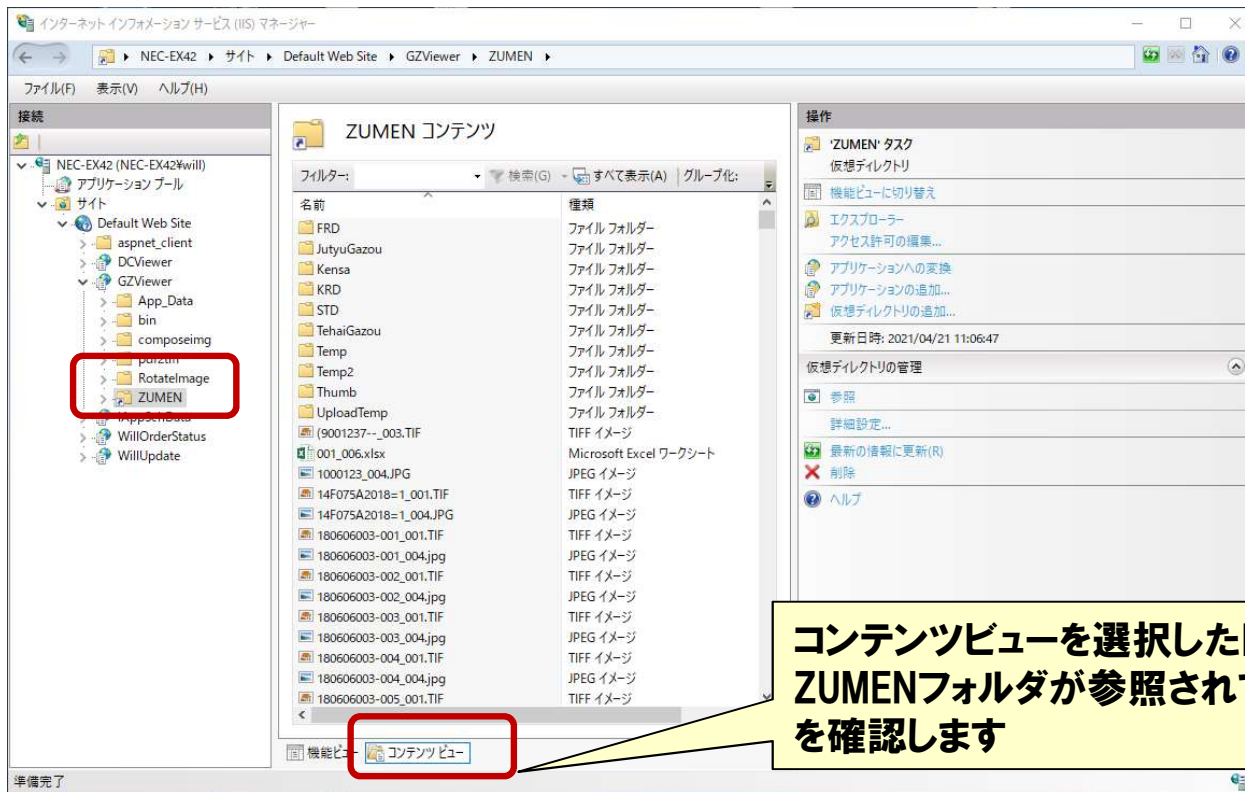
④ OFFに設定されていた場合は、ONに設定します。

※ネットワークに接続できない場合はローカルネットワークがOFFとなっている場合があります

2-3. IIS 仮想ディレクトリの確認

IISマネージャーで仮想ディレクトリの状態を確認します。

- ① IISマネージャーツリー表示で、GZViewer→ZUMENを選択、画面下部のタブよりコンテンツビューを選択
- ② 指定したZUMENフォルダが参照されている事を確認します



③正常に表示されない時は、仮想ディレクトリの管理→詳細設定で設定を確認します。

インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー

NEC-EX42 > サイト > Default Web Site > GZViewer > ZUMEN

接続

NEC-EX42 (NEC-EX42#will)

アプリケーションプール

サイト

Default Web Site

aspnet_client

DCViewer

GZViewer

App_Data

bin

composeimg

pdf2tiff

Rotatelmage

ZUMEN

iAppSch

WillOrde

WillUpd

操作

エクスプローラー

アクセス許可の編集...

基本設定...

仮想ディレクトリの管理

仮想ディレクトリの参照

*:80 (http) 参照

仮想ディレクトリの編集

詳細設定...

詳細設定

仮想パス	/ZUMEN
物理パス	C:\ZUMEN
物理パス資格情報	
物理パス資格情報のログオンの種類	ClearText

仮想パス
[path] アプリケーションの URL パスです。

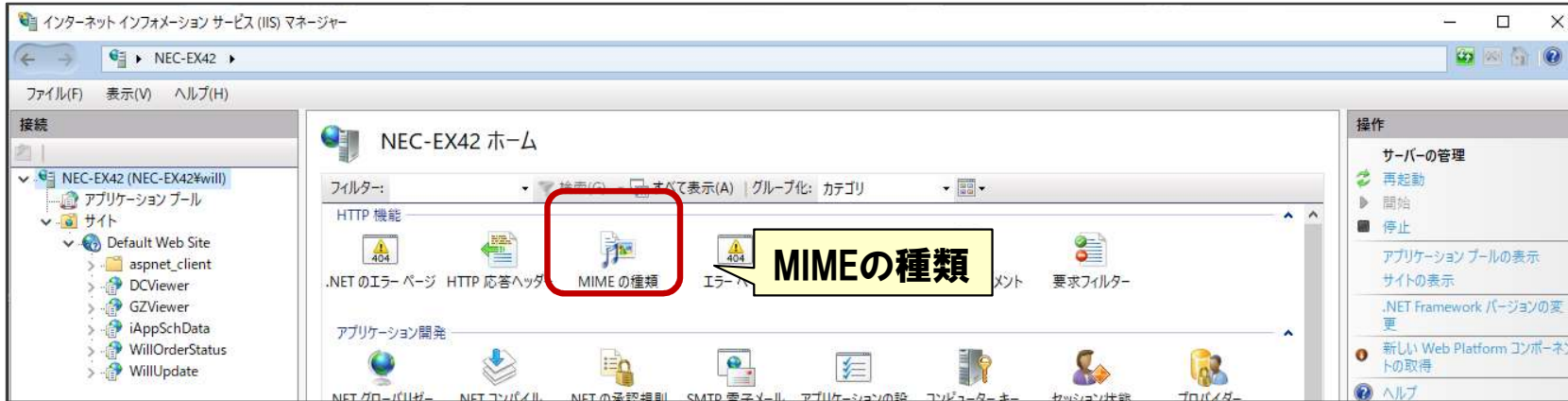
OK キャンセル

- 物理パスに画像データモジュールの図面データフォルダ (通常は“C:\ZUMEN”)をパス付で指定します。
- ZUMENフォルダが他のPCの共有フォルダの場合は (例: \\FileServer\share\ZUMEN) を指定します。

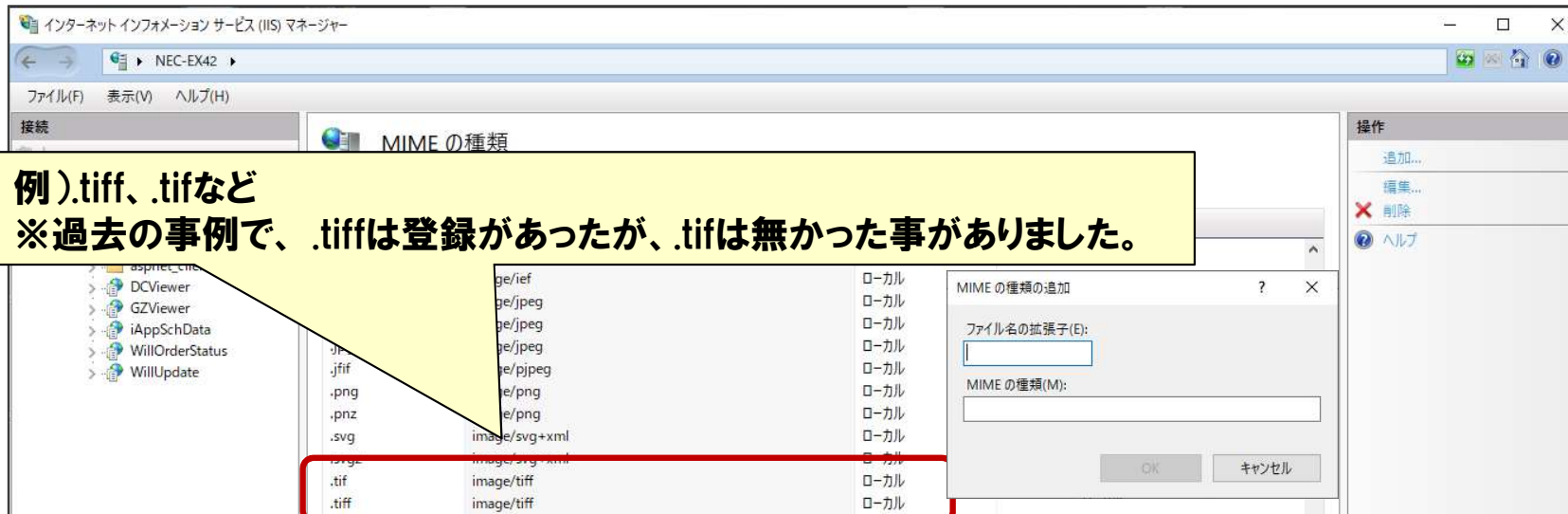
2-4. IIS MIMEの確認

IISマネージャーでMIMEに該当するデータの拡張子が登録されているか、確認します。

① IISマネージャーの機能ビューより、でMIMEの種類を選択します。



② MIMEの種類に該当するデータの拡張子が登録されているか？確認します。



③ 該当するデータの拡張子が登録されていない場合は、拡張子を追加します。

The screenshot shows the IIS Manager interface. The main window displays the 'MIMEの種類' (MIME Types) section. A dialog box titled 'MIMEの種類を追加' (Add MIME Type) is open, prompting for the file extension and the MIME type. A yellow callout box provides instructions: '.tifを登録する場合、ファイル名の拡張子: .tif、MIMEの種類: image/tiffを入力し、OKを押します' (When registering .tif, enter file extension: .tif, MIME type: image/tiff, and press OK). Another yellow callout points to the '追加...' (Add...) button in the '操作' (Actions) pane, labeled '追加選択' (Add Selection).

**.tifを登録する場合
ファイル名の拡張子: .tif
MIMEの種類: image/tiff
を入力し、OKを押します**

追加選択

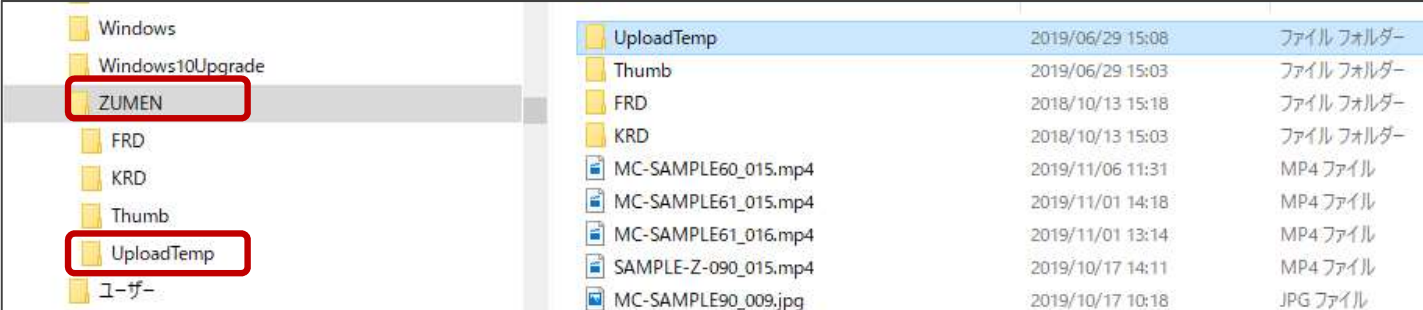
拡張子	MIMEの種類
.ief	image/ief
.jpe	image/jpeg
.jpeg	image/jpeg
.jpg	image/jpeg
.jfif	image/pjpeg
.png	image/png
.pnz	image/png
.svg	image/svg+xml
.svgz	image/svg+xml
.tif	image/tiff
.tiff	image/tiff

2-5. 画像格納フォルダの確認

画像データモジュールが参照しているZUMENフォルダの環境を確認します。

- ① ZUMENフォルダにiP画像ビューアからの画像アップロード先フォルダがあるか確認します。

※通常は“C:¥ZUMEN¥UploadTemp”



Windows		
Windows10Upgrade		
ZUMEN		
FRD		
KRD		
Thumb		
UploadTemp		
ユーザー		

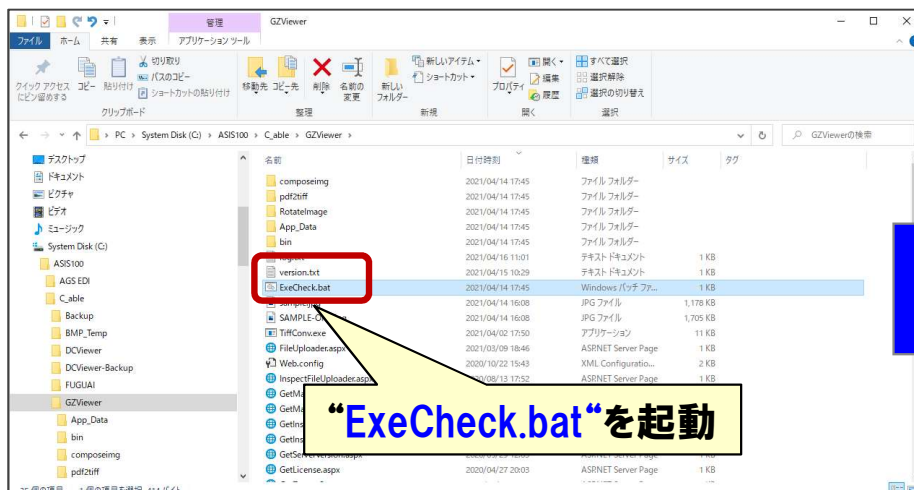
UploadTemp	2019/06/29 15:08	ファイル フォルダー
Thumb	2019/06/29 15:03	ファイル フォルダー
FRD	2018/10/13 15:18	ファイル フォルダー
KRD	2018/10/13 15:03	ファイル フォルダー
MC-SAMPLE60_015.mp4	2019/11/06 11:31	MP4 ファイル
MC-SAMPLE61_015.mp4	2019/11/01 14:18	MP4 ファイル
MC-SAMPLE61_016.mp4	2019/11/01 13:14	MP4 ファイル
SAMPLE-Z-090_015.mp4	2019/10/17 14:11	MP4 ファイル
MC-SAMPLE90_009.jpg	2019/10/17 10:18	JPG ファイル

- ② UploadTempフォルダが無い場合は、“ZUMEN”フォルダの配下に”UploadTemp”フォルダを作成します。

2-6. GZViewerアプリ動作の確認

iP画像ビューアが使用している画像変換モジュール(GZViewerフォルダ内)の動作を確認します。

- ① GZViewerフォルダ配下にある各種画像変換モジュールが正常動作しているかを確認します。
GZViewerフォルダの配下の“ExeCheck.bat”を起動します。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>copy sample-org.jpg sample.jpg /Y
1 個のファイルをコピーしました。
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>RotateImage\RotateImage.exe --version 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>RotateImage\RotateImage.exe --sp SAMPLE.jpg 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>TiffConv.exe SAMPLE.tif SAMPLE.TiffConvOK.tif 1>>log.txt
Output file SAMPLE.TiffConvOK.tif saved.
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>pdf2tiff\MakingThumbnailFromPdf.NetFramework.exe -a pdf2tiff\SAMPLE.pdf
-h 3300 -d 300 -p pdf2tiffOK.tif 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>composeimg\compositingImage.exe -a composeimg\SAMPLE.tif -o SAMPLE.comp
oseOK.png -p 1 1>>log.txt
C:\ASIS100\C_able\GZViewer>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

コマンドが表示され結果が表示されます。
例)これはエラーが無い場合

- ② 各種画像処理が成功すると、GZViewerフォルダ配下に下記ファイルが生成されます。

- SAMPLE.composeOK.png
- SAMPLE.TiffConvOK.tif
- pdf2tiff\SAMPLE.pdf2tiffOK.tif

※ ExeCheck.batはサーバーVer3.0.8(iP画像ビューアVer3.3標準環境)より実装されています。

③ 各種画像処理が失敗した場合、サーバ内の.NET Frameworkが古い・インストールされていない事が考えられます。下記の手順で確認します。

<Windows10 .NETFrameworkバージョン確認方法>

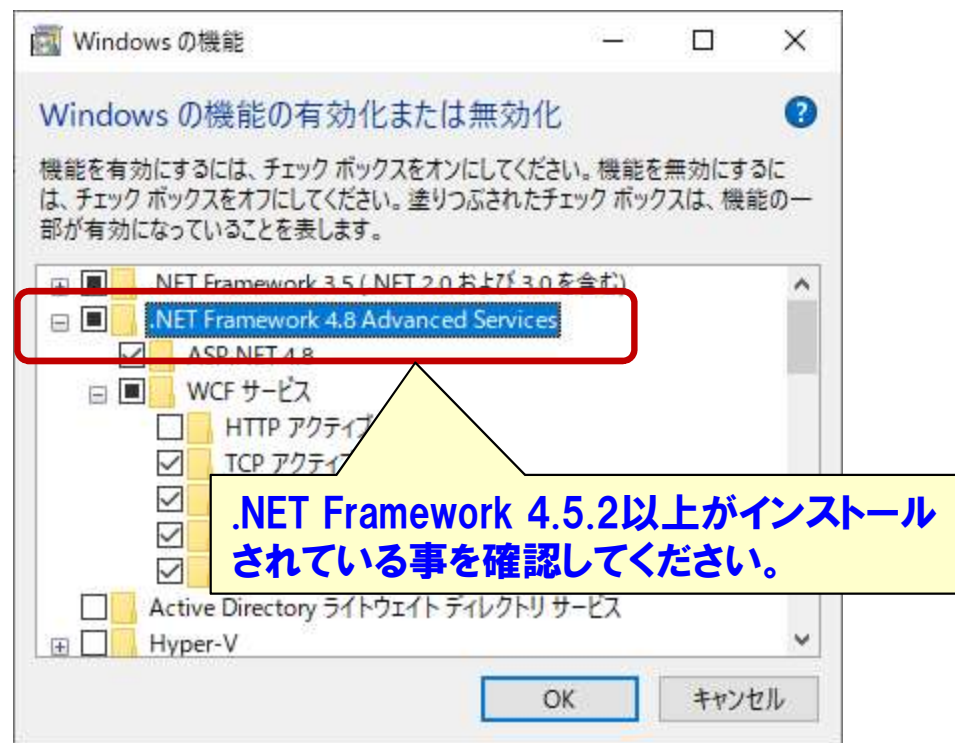
1) コントロールパネルから「プログラムと機能」を選択



2) Windowsの機能の有効化または無効化を選択



3) Windowsの機能の有効化または無効化が表示されます。



4) 機能が選択されていなかったら選択し、機能を追加してください。

<Windows Server2016 .NETFrameworkバージョン確認方法>

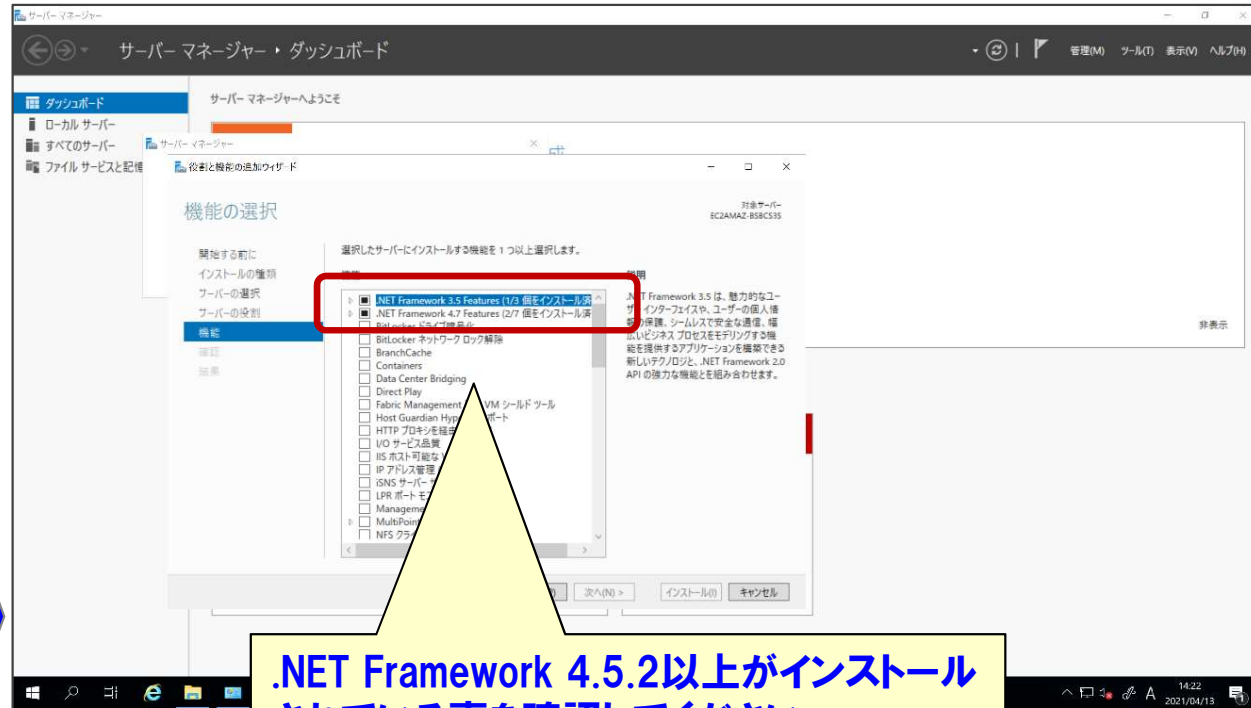
1) サーバマネージャーを起動します



2) 役割と機能の追加を選択します



3) 役割と機能の追加ウィザードで機能の選択まで進めます。



4) 機能が選択されていなかったら選択し、機能を追加してください。